

令和2年度自己点検・自己評価の結果概要

1 自己点検・自己評価の取り組みの経過

本校は、平成24年度に自己評価委員会を設置し、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき、自己点検・自己評価を実施している。平成30年度からは、学校関係者評価を実施し、外部の関係者からの評価及びご意見をいただき、学校運営に対する評価を行い、学校活動全般に関する質の向上を目指している。

また、令和2年度には点検項目の見直しを行い、指針に準じた大項目9に対する、本校の運営に即した小項目を69とし、評価基準を3段階から4段階に変更した。

2 自己点検評価等により課題とされた事項への主な取り組み

令和元年度の結果を受け、令和2年度は次の取り組みを行うこととした。

- (1) 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。
- (2) 地域社会における学校のあり方や活動を検討し、地域貢献できる。
- (3) 卒業生の活動状況を把握し看護基礎教育に反映できる方法を検討する。
- (4) 教員が授業準備のための時間をとれる体制を検討する。

令和2年度は、コロナウイルス感染症により、休校や臨地実習の中止など教育体制や感染症対策など例年ない対応が急務となり上記課題への取り組みが十分な状況とはならなかった。

安全教育を計画的に実施するために課題を明確化できたため具体的な検討は次年度に実施していきたい。そのほかの事項についても引き続き取り組んでいくこととしたい。

3 令和2年度自己点検・自己評価結果

評価項目を大項目9、小項目69とし、4段階評価の評価基準により実施した。

評価時期は令和3年1月13日から1月29日までとし、令和2年度実施内容に対する評価を、教職員16名で行った。

評価結果

令和2年度から評価基準を3段階から4段階に変更したため、全体の平均点は高くなっている。

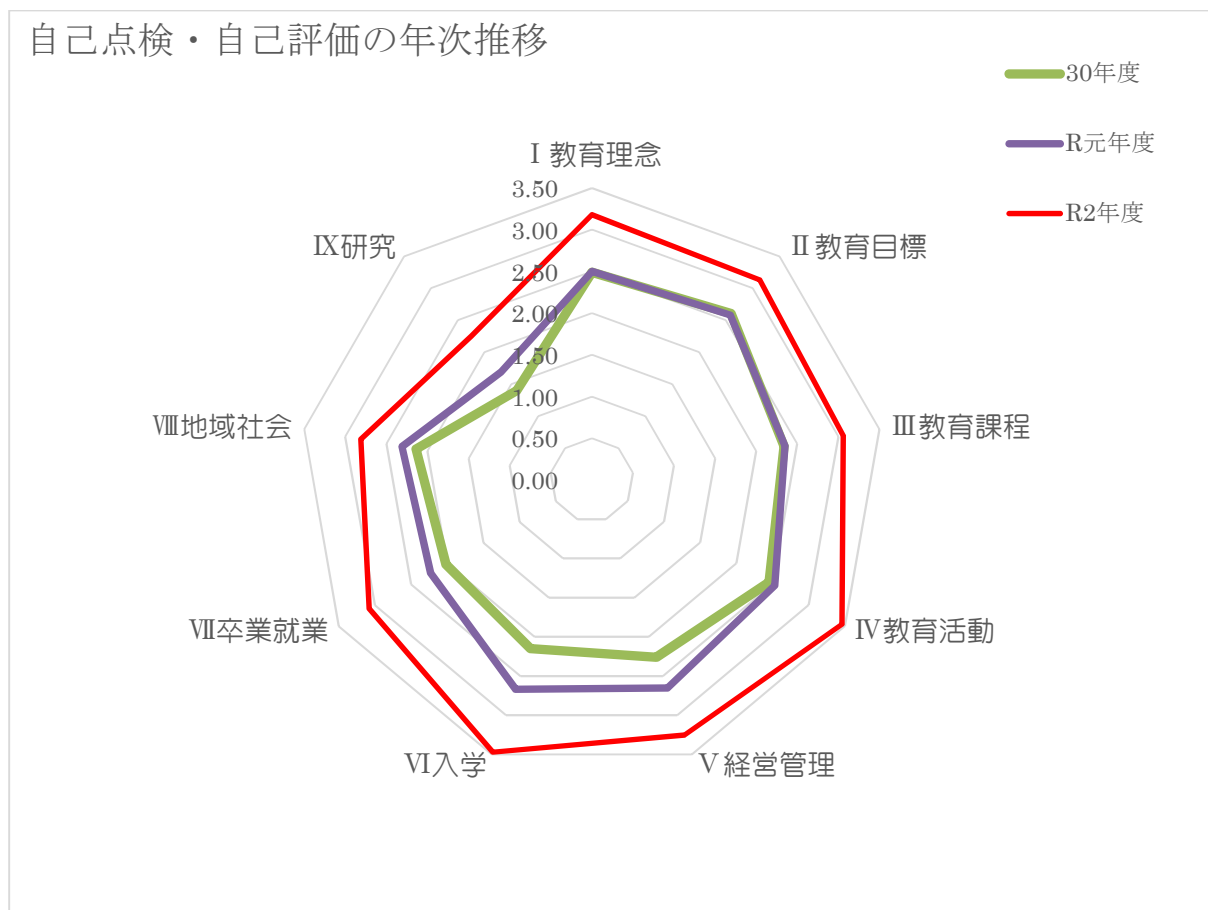
全体としてはIX研究が低い傾向は変わらない。

表1 年度別の評価集計結果

大項目	R2	R1	H30	H29
I 教育理念・教育目的	3.18	2.50	2.49	2.50
II 教育目標	3.13	2.58	2.60	2.61
III 教育課程	3.06	2.35	2.34	2.35
IV 教育活動	3.46	2.53	2.45	2.47
V 経営管理	3.25	2.65	2.26	2.25
VI 入学	3.47	2.67	2.15	2.27
VII 卒業・就業・進学	3.08	2.23	2.02	2.02
VIII 地域社会	2.81	2.31	2.14	2.17
IX 研究	2.25	1.69	1.40	1.50
全体平均	3.07	2.39	2.21	2.23

令和2年度から評価基準を3段階から4段階に変更している。

自己点検・自己評価の年次推移



- 大項目では、VIII地域貢献、IX研究を除き、全て3点以上の評価だった。
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により、休校や臨地実習の中止など教育体制や感染症対策など例年ない対応が急務となり地域貢献や研究の項目の点数が低くなったと思われる。
- 教育活動のうち、「教員が授業準備のための時間が取れる体制が整えている」と研究に関しては例年低評価となっている。学校関係者評価会議においても、「教員のゆとりのなさを根本的に変える体制づくりに期待したい」「教育力を高めるためにも必要不可欠だと思う」等の意見をいただいているため、体制整備を進めることが必要と考える。
- 教育理念・目的、教育目標、教育課程については、カリキュラム改正に向けて引き続き検討をしていく必要があることは共通認識できている。
- 入学に関しては、評価点としては低くないが、大学の増加等に伴い入学生の確保と併せて質の高い学生を確保することが課題となってくると思われる。

4 今後に向けて

令和2年度の取り組み及び自己点検・自己評価の結果を受け、令和3年度は次の取り組みを行う。

- ① 臨地実習における学生の安全教育、安全対策を強化する。
- ② 地域社会における学校のあり方や活動を検討し、地域貢献できる。
- ③ 卒業生の活動状況を把握し看護基礎教育に反映できる方法を検討する。
- ④ 教員が授業準備のための時間をとれる体制を検討する。
- ⑤ 質の高い学生を確保するために、広報や入試等について検討する。

2022年のカリキュラム改正へ向けた準備を進める中、地域の特徴、本校の特徴を生かしながら、将来を見据えた展望を明確にし、取り組みを進めたい。

併せて学校関係者評価において、いただいた多くの貴重なご意見・評価を踏まえ学校運営全般の質向上を図っていききたい。